

# 未来のつばさ



## INDEX

P.2 2013年度 自立奨学支援事業を振り返って

未来のつばさ財団 事務局長 加苅康作

楽天命保険株式会社 代表取締役社長 米田光生

自立奨学支援・選考委員 「選考を終えて」

P.4 子ども達からの手紙

## ご支援ありがとうございました!

書き損じはがきによるご寄付、ありがとうございました。

2014年度 未来のつばさ自立奨学支援制度

P.6 未来のつばさ財団のご紹介

P.8 事務局移転のお知らせ

Vol.18  
2014.6

2013年度の自立奨学支援制度も多くの皆様のご協力により、夢を持って就職や進学をする子ども達を支援することができました。

寄付者の方々、施設の先生方はじめ多くの関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

本年もまた、従来と同じように応募者に対して子どもの支援決定者数の比率が低く、3割強であったことは、事務局として大いに反省するところであり、子ども達への支援者数をいかに増やすかが今後の大きなテーマとして捉え、一層の努力の必要性を痛感しています。

尚、本年も昨年同様、書き損じハガキ回収キャンペーンにより9人（就職者8人、進学者1人）を増やすことが出来たこと、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

以下、2013年度自立奨学支援の結果について報告を申し上げます。

未来のつばさ財団  
事務局長 加莉 康作



選考委員から

「選考を終えて」

今年も、児童養護施設を巣立って、就職を希望する子ども達の書類選考をさせていただきました。

私の心にいつも残る言葉があります。それは、ほとんどの子ども達が、将来の夢で「いつか、自分の家族と一緒に暮らしたい」と書いていることです。児童養護施設に入所の理由の多くが、親からの虐待や放置と聞いていた私にとって驚きでもあり、当初は理解できませんでした。

親子の情とは、こんなに深いものなのか、また、児童養護施設の先生方子ども達に対する深い愛

情を持って、ある時は厳しく、またある時は優しく接してこられたことの賜物なのかと思います。

このような気持ちを持って、社会に巣立っていった子ども達が、厳しい社会の波にもまれながらも力強く生きて行き、将来の夢を現実のものにしてもらいたいと願っています。

楽天生命保険株式会社  
代表取締役社長 米田 光生



審査委員から

「前向きに生きる子ども達」

本人にはまったく責任のない家庭の事情で、日常生活や学習環境において多くのハンデを背負わされているながら、そうした逆境を跳ね返す勢いで、自立すべく前向きに生きていこうとしている子ども達が多くいることが実感できて、今年も貴重な体験をさせていただいたと思います。

30件弱の応募書類を拝見しましたが、彼らの逆境の原因の大半は親の身勝手でした。全員を支援できないことが心から辛いと思いました。

「子どもを育てるこの責任感」

就職や就学の支援を行なっていることは知っていたが、実際の申し込み書類を見ることができ、その状況をより具体的に知ることができた。子ども達のそれぞれの状況を思うと、150名という枠を設けなければならないことに少なからず忍びなさを感じた。

今後、財団の行なっている支援を、少しずつでも広げることに関心を感じたし、また、親として子どもを育てるということについての責任感の大切さについて、改めて考えさせられた。

「今後も長く続けていきたい」

貧困の連鎖がニュースサイトなどで取り沙汰されています。格差社会という言葉も、以前より頻りに聞かれるようになりました。安易に利息がつく奨学金を借りてしまい、大学卒業後に定職に就けず借金を膨らませてしまう人も多くいるそうです。そんな中、返済不用で15万円を支援できるシステムはとても素晴らしいもので、今後も長く続けていければいいと思います。

しかし、本来は支援対象者がいない社会が理想です。もっと根本的な問題を改善していくにはどうしたらいいのか、大人の責任として考え続けていきます。

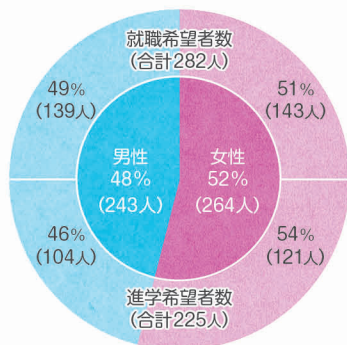
「少しでも夢に近づけるように」

色々な境遇の子ども達がいて、それでも精一杯の努力をして進学する子や進学を希望しつつも状況が許さないために就職する子、早く自立したいとの思いから就職の内定をもらった子など、様々です。

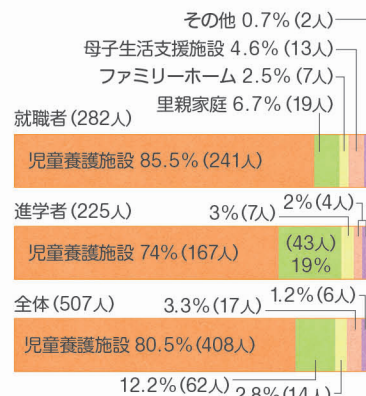
作文や推薦書を読んで、切ない気持ちでいっぱいになりました。これからの将来を担う子ども達が少しでも夢に近づけるように、今後もこのような活動は必要だと感じました。

応募者について

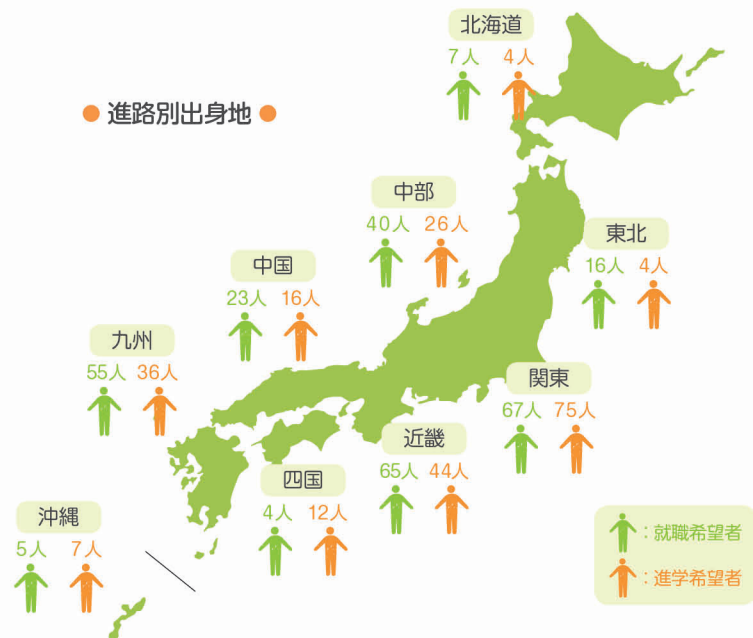
● 進路別男女比 ●



● 進路別出身施設 ●

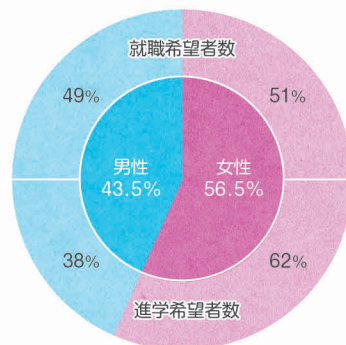


● 進路別出身地 ●

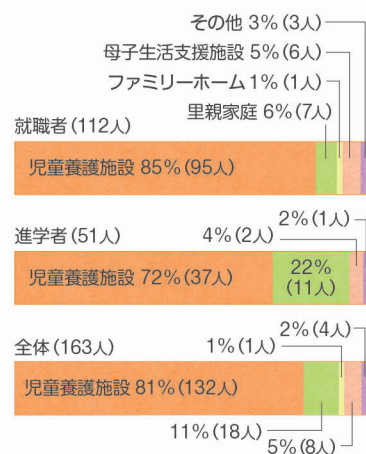


支援決定者について

● 進路別男女比 ●



● 進路別出身施設 ●



## 子ども達からの手紙

# ご支援ありがとうございました！

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。

子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。

私の事を応援してくれてありがとうございます。  
私を支えてくれる人は施設員先生だけじゃなく、  
奇付をしてくれたお母さん達もいるんだとお礼退所してから、  
仕事や生活を頑張ろうと思えました。  
私を支えてくれる人がたくさんいてとても嬉しいです。  
ありがとうございます。

私を支えてくれる人がたくさんいる

支援金を送っていただきありがとうございます。  
4月から働き始めました。  
通勤用の洋服やバスカードを購入しました。  
そして、はじめて携帯電話を持ち、連絡用に  
使えるようになりました。  
まじめに仕事をしてずっと続けて働けるよ  
うに頑張ろうと思います。

ずっと続けて働けるように

今回は15万円という大金を寄付して下さい、本当にありが  
とうございます。  
私は施設に入所して「自分(はもう、どうでもいいや)」と思うことが  
何回もありました。  
しかし、沢山の人がこのようなかたちで応援して下さいの、  
なげかりな気持ちではダメだと改めて思いました！！  
この支援資金を無駄にしないように、一生懸命  
働きたいと思っております。ありがとうございます。

この支援資金を無駄にしないように

この度は奨学金のご寄付、誠にありがとうございます。  
財力がほとんどない私にとってこの奨学金は、  
津から、社会に出て働いていくための準備という  
ことで、家具や家電を購入していただきました。  
働いていく中で沢山の壁(お金の壁)に  
悩んだり、苦しいと思ったりはありますが、  
そんな時、応援してくださる人も  
支えてくれる人がいること、感謝し、  
頑張りたいと思います。  
本当にありがとうございます。

悩んだり、苦しいと思った時には

私の将来の夢はオムロン生活が楽しくなるような  
アプリケーションエンジニアになることです。  
そのために、大学でたくさん勉強し行動を起こすことが  
大切だと思います。今回のご支援のおかげで、  
夢へと一歩近づけたと思います。ありがとうございます。

夢へと一歩近づけた

## 小学校の教員になるために

ご支援ありがとうございます。  
私は、いつもたくさんの方から支えられ、心から感謝しております。  
応援してくれている方々への感謝の気持ちと決意を込めて、  
私はこれから大学で4年間、将来の夢である小学校の教員になる為の  
勉強と頑張ります。  
そしていつかは、支援する側となり、社会に役立つ人材になりたいです。  
この度は本当にありがとうございます。

私達のためにたくさんの奨学金を支援していただき  
ありがとうございました。  
これから感謝の気持ちを忘れず、夢である看護師を目指し  
勉強に励み、くじけそうになったときには私達を見守っている人々が  
たくさんいることを思い出してがんばりたいと思います。  
そして、将来は患者さんに寄り寄り寄り支えることのできる優しい看護師として  
社会に貢献したいです。  
この度は本当にありがとうございます。

看護師として社会に貢献したい

## 私は将来、保育士になる

今回、この自立奨学支援資金を受け取ることができ、私の将来への希望はまた一段と  
大きくなりました。自力進学をするにあたって金銭的な面での不安もあり  
本当に私にできるのだろうかという不安も日々続いておりましたが、この支援資金に  
よって気持ちの面でも安定し、未来の輝かしい大学生活を思い描く時間が  
多くなりました。私は将来、保育士になる事を志しています。  
保育士というお仕事は、守るべき存在である子ども達と沢山の接する事もでき  
それがまた子ども達の将来の人格形成に関わる大切なお仕事だと感じています。  
私自身の経験を生かし、将来は子ども目線に立って気持ちを理解しあげられる  
保育士になる事が目標です。全国の応援してくださる方々に胸が張れるような保育士になりたいです。

## 書き損じはがきによるご寄付、ありがとうございました。

当法人では、書き損じ、未使用はがきによるご寄付を受け付けています。  
2013年度も、たくさんの方からはがきをご提供いただいたことで、当初予定の105名に加え、  
8名の子ども達へ追加で支援を行うことができました。誠にありがとうございました。  
特に楽天生命保険株式会社の皆さまには、2013年11月1日～2014年1月24日の間、「書き  
損じはがき回収キャンペーン」を実施いただき、多くのご支援をいただきました。皆さまの継  
続的なご支援に心より感謝申し上げます。

ご報告 **はがき枚数 32,605枚**  
**寄付金額 1,407,526円** (交換手数料を引いた金額)

この貴重なご支援に対し、子ども達から多くの感謝のメッセージ  
が届いておりますので、今ページでご紹介いたします。



## 2014年度 未来のつばさ自立奨学支援制度

今年度も皆さんを応援します

### ■支援対象者

- ① 児童養護施設入所児童
- ② 母子生活支援施設入所児童
- ③ 里親委託児童
- ④ ファミリーホーム入居児童
- ⑤ その他の児童福祉施設入所児童  
(個別にご相談ください)

上記の施設に入所して原則18歳を迎え、進学・就職する  
予定の児童が対象です。申請時点で志望校また就職先  
の可否結果が未定時でも申請は受け付けます。

ただしいずれも進学また就職(アルバイト・パート以外)  
の決定が支援決定の条件となります。

### ■支援予算総額と支援内容

- 支援予定者数 150名  
(進学者 50名 就職者 100名)
- 進学・就職の支度金として 一人15万円

\* 支援資金の返済義務はございません。  
\* 進学申請の志望校について、大学、短期大学、専門学校、職業  
訓練校、障がい児童のための職業訓練開発施設など。  
(該当ない場合はご相談ください)

# 未来のつばさ財団のご紹介

## 1 事業内容

**事業目的：** 本財団は18歳で児童養護施設等を就職、進学で巣立つ子ども達へ自立奨学目的の助成事業を行い社会人としての生活基盤を支援いたします。また施設等に暮らす子ども達が安心と夢のある暮らしの支援、自立した人たちが様々な問題を抱えた時、癒される相互扶助と交流の場作りをサポートいたします。これらの目的を果たすべく次の事業を行っています。

### 子どもへの自立奨学支援資金の提供

児童養護施設や里親委託家庭の子ども達は18歳で高校を卒業した後、原則として施設などを離れなくてはなりません。両親からの援助が得られにくい子どもが多く、一人で自活していかななくてはなりません。寮などの設備がない企業に就職する子ども達はアパートなどを借りるために敷金礼金や生活用品が必要となります。進学する子ども達は入学金や授業料、一人暮らしの準備もしなければなりません。そのような子ども達が社会人の一歩を踏み出せるよう「自立奨学支援資金」を提供しております。

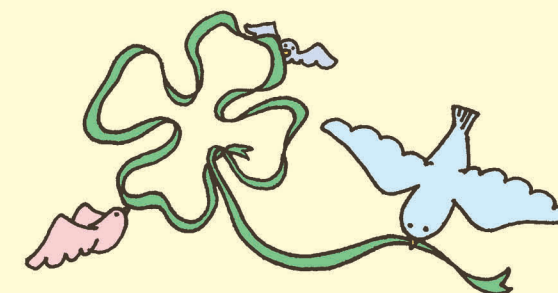
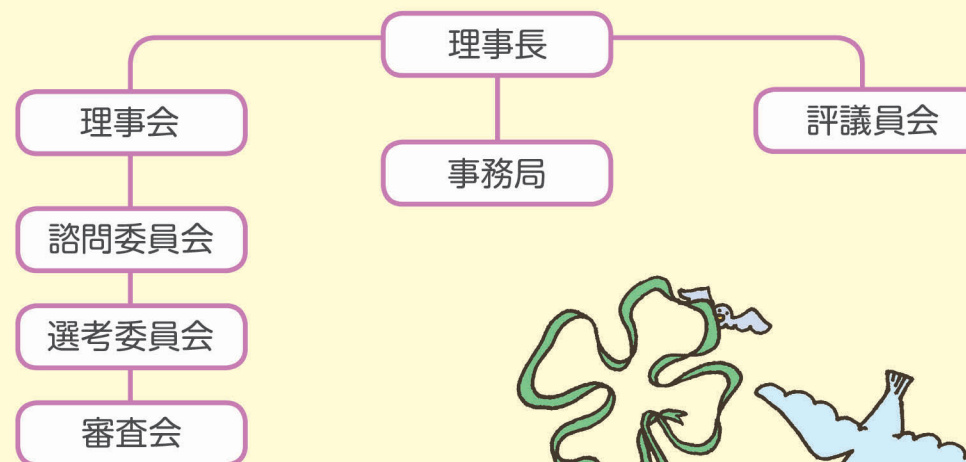
### 子ども達の夢を守る活動への支援

施設を巣立つ子ども達は、自ら稼いだお金で住まいや衣服を整え、食事をして生活をしていかなければなりません。しかし、子どもの中には、家庭事情や生まれ育った環境から基本的な生活能力や、対人コミュニケーションに欠け、仕事に対する意欲などが低い子どもも少なくありません。子ども一人ひとりに卒園後に一人で生き抜く力をつけさせるには大変な労働力が必要です。今の実力主義の競争社会を生き抜き子ども達の夢を実現させる技術と知識を与えるための活動に参加していきます。

### 自立した人たちへの心の広場を提供

卒園後一番困ることとしてあがるのが「孤独感」。施設での集団生活から、いきなり一人暮らしを余儀なくされ、身近に相談できる大人もあらず、孤独感や孤立感を深める子どもは少なくありません。お金や人間関係のトラブルなどで困難な状況に陥った時も自力で乗り越えなければなりません。そんな時に相談できる、アドバイスをもらえる、励ましてくれるそんな仲間とふれあう場所があればと考え、全国の児童福祉団体では数々のプログラムを実施しています。私たちもこの活動に協力していきます。

## 2 組織



## 3 財団メンバーの紹介

**諮問委員：** 当法人の公益性、公平性、公序良俗適正を保持する事業活動が正常に機能されかつ健全に成長できることを目的に設置されています。



藤野 興一氏

児童養護施設の入所児童に高校進学費用が公的に支給される運動から自身園長を務める「鳥取こども学園」で18歳までの養護保障と高校全入措置を開始。またOBの家を作ろうと自立援助ホームを開設し、大学・専門学校への進学を目指し鳥取児童養護施設協議会「あしながおじさん会」を組織する。また、鳥取県のみならず日本の福祉をリードし、先駆的取り組みにより、数多くの業績を残し全国児童養護施設協議会会長として活躍中。



藤澤 昇氏

昭和46年岩手大学教育学部を卒業後、旧虚弱児施設「みちのくみどり学園」に勤務。この施設は、病院と児童養護施設の併設している特異な施設で全国でも2か所という貴重施設です。また、平成17年より社会福祉法人「岩手愛児会」会長に就任し、結核児童、虚弱施設より始まり、慢性疾患、不登校など変遷する子どもに関する問題に取り組んでいる。国や公共のため功労のあった人を対象とする2010年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章。



太田 一平氏

平成10年3月社会福祉法人「和敬会」理事長・寮長に就任し、児童福祉法による児童養護施設「八楽児童寮」また老人福祉法による特別養護老人ホーム「まどかの郷」を運営。地元のみならず社会的養護をテーマとする研究発表会、全国のシンポジウムを開催し「NPO STARS」代表理事として里親支援プロジェクト、自立支援プロジェクトに取り組み児童福祉施設職員の専門性向上に貢献。また、豊橋創造大学短期大学講師として教壇にも立つ。

## ホームページをぜひご覧ください

### 公益財団法人 未来のつばさ財団

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

未来のつばさ

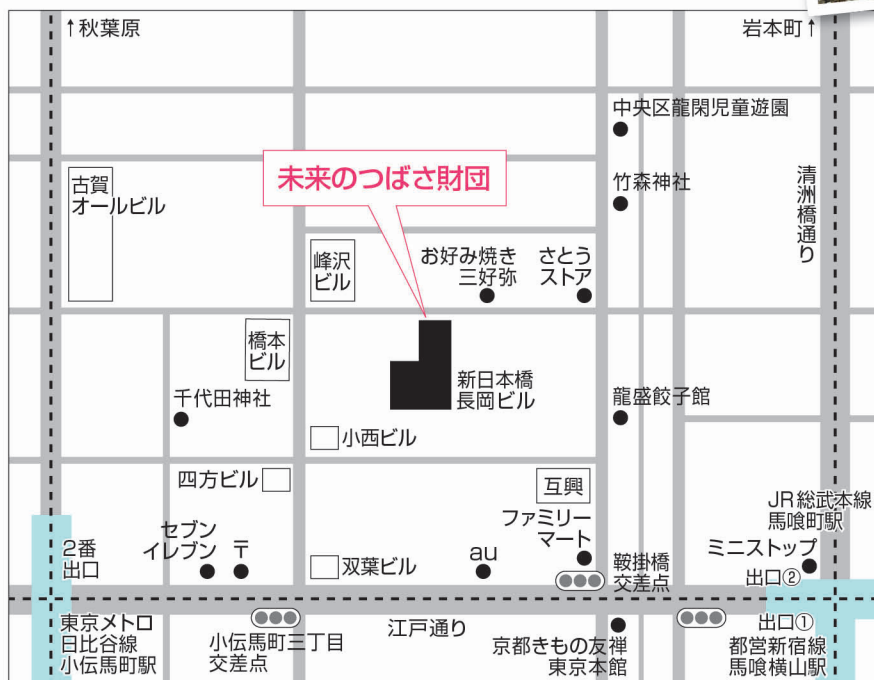
検索

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



## 事務所移転のお知らせ

4月より事務所を移転いたしました。



- ・ JR総武本線「馬喰町駅」出口①、②より約150m
- ・ 東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」2番出口より200m
- ・ 都営地下鉄新宿線「馬喰横山駅」より250m



公益財団法人

未来のつばさ財団

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階

電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870

E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp